



ViewFramer  
ユーザーガイド  
kintone ver.  
(Excel ブラウザマッピング  
/一覧)

Ver.1.5

## 改訂履歴

---

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/10/02	新規作成
1.1	2020/05/18	5.6 出力条件の設定について修正
1.2	2020/11/09	出力バージョンの違いについて追記
1.3	2020/12/24	「3.2 テンプレートの新規作成」の注意点を追記
1.4	2021/09/17	「本書の使い方」に、Office アドインを使用した Excel 帳票出力設定を推奨する注釈を追記
1.5	2023/08/07	「5.4 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定」に注意事項を追記

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。  
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

## 本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、ViewFramer をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

帳票出力には、kintone アプリストアからサイボウズが提供している標準アプリを使用しています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

※本マニュアルには、事情により Office アドインが使用できない場合の Excel 帳票出力設定方法を記載しております。

Office アドインが使用できる場合は、マニュアル「ViewFramer ユーザーガイド kintone ver. (Excel/Word Office アドイン一覽)」にて Excel 帳票出力設定方法をご確認ください。

## 本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[ ]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

# 目次

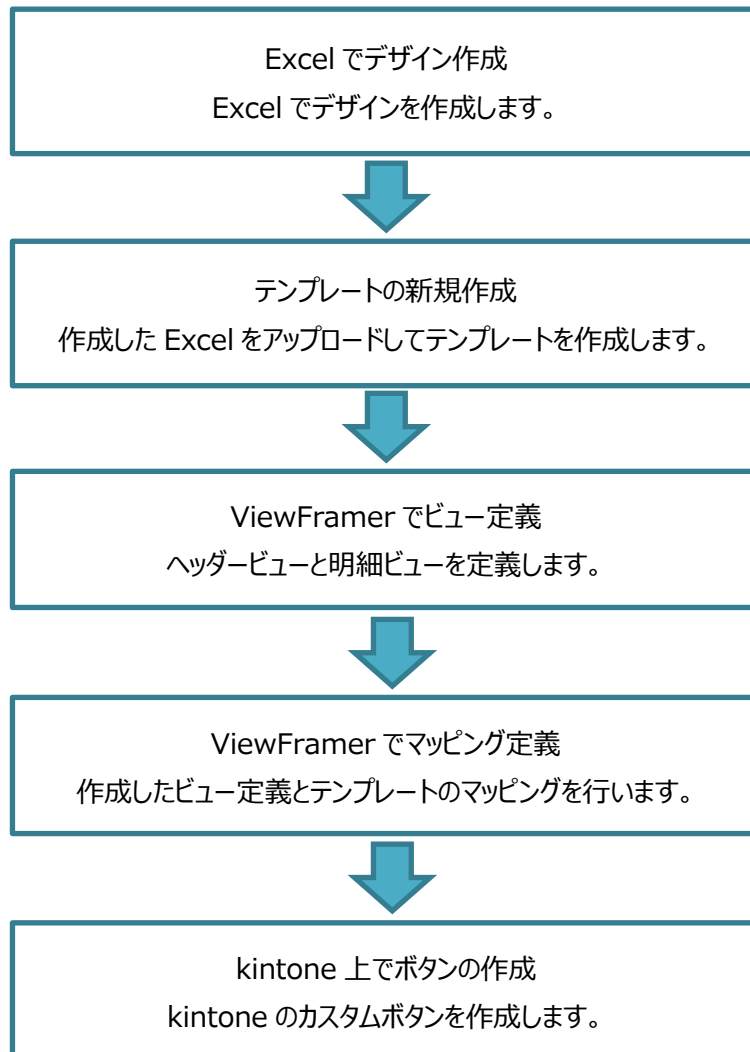
---

<b>1. はじめに</b> .....	<b>5</b>
<b>2. 全体の流れ</b> .....	<b>6</b>
<b>3. テンプレートのデザイン</b> .....	<b>7</b>
3.1 デザインの作成 .....	8
3.2 テンプレートの新規作成 .....	9
3.3 基本操作の紹介.....	10
3.4 実際に作る .....	12
<b>4. 項目のマッピング</b> .....	<b>17</b>
<b>5. ビュー定義</b> .....	<b>20</b>
5.1 ViewFramer ログイン .....	20
5.2 ビューの作成.....	22
5.3 ビュー定義: 詳細画面 - 基本設定.....	22
5.4 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定 .....	23
5.5 ビュー定義: 詳細画面 - 出力項目設定 .....	25
5.6 ビュー定義: 詳細画面 - 出力条件.....	26
<b>6. マッピング定義</b> .....	<b>27</b>
6.1 マッピングの作成.....	27
6.2 マッピング管理: 詳細画面 .....	27
6.3 マッピング管理: 出力設定画面 .....	28
<b>7. 出力アクションの作成</b> .....	<b>30</b>



## 2. 全体の流れ

ViewFramer では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。



# 3. テンプレートのデザイン

出力したい帳票の見た目を OPROARTS Live でデザインします。

本ユーザーガイドでは、以下のような帳票を出力するためのテンプレートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												

## 商談一覧

完了予定日	営業担当者	商談名	取引先名 <sup>④</sup>	金額
① 2100/12/31	② 山田 桃太郎	③ 商談1	サンプル取引先	⑤ 10000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談2	サンプル取引先	20000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談3	サンプル取引先	30000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談4	サンプル取引先	40000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談5	サンプル取引先	50000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談6	サンプル取引先	60000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談7	サンプル取引先	70000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談8	サンプル取引先	80000
2100/12/31	山田 桃太郎	商談9	サンプル取引先	90000

番号	内容
①	案件アプリの受注予定日項目
②	案件アプリの営業担当者項目
③	案件アプリの案件名項目
④	顧客情報アプリの会社名項目
⑤	案件アプリの受注金額項目

番号を振っていない部分の文言は固定文言です。

任意の文言を配置、もしくは何も配置しなくても問題ありません。

※「案件情報アプリ」と「顧客情報アプリ」は kintone アプリストアの「営業支援(SFA)パック」のものを使用しています。

**注意** 後の設定で使用するため、アプリの設定から「顧客情報アプリ」に「レコード番号」項目を追加してください。

※本テンプレートは帳票テンプレートの構造を理解するため、敢えて非常にシンプルな構成にしています。

OPROARTS Live での帳票デザインの詳細はこちらをご参照ください。

<https://s.oproarts.com/help/contents/ja/designer.html>

## 3.1 デザインの作成

デザインはすべて Excel 上で行います。書式設定や数式、マクロなどをそのまま引き継ぐことができます。  
ここでは、以下のように Excel シートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

デザインを作成する際の注意点は以下 2 点です。

- ・ アップロードできるセル数は 2500 セルまでですので、セルはできるだけ結合してください。
- ・ デザインに表示される領域は、Excel 上で[Ctrl]+[End]キーを押下した時に選択されるセルと A1 セルの間の範囲になります。この範囲に不要なセル（空欄の行や列）がある場合はできるだけ取り除いてください。
- ・ 数式があるセルにマッピングしても、出力時は数式が保持されます。

その他の制限事項については、以下のヘルプのセクション

- ・ Live, Document Designer for Office 全てに対する制限
- ・ Live Excel の制限(Live for Salesforce, Live Excel) ※Office アドインではなく、ブラウザマッピング版に記載しております。

[Excel/Word/PowerPoint 帳票に関する動作要件と制限事項](#)



## 3.2 テンプレートの新規作成

OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。



ここでは、[Excel] タブで「Excel アップロード」を選択します。  
連携方法「ViewFramer/D3Worker」、出力形式「Excel」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力し、[作成] をクリックしてください。

- ・使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- ・先頭の文字はアルファベットである
- ・最後の文字がアンダースコアでない
- ・アンダーバーが 2 個以上連続していない

Excel ブックに作成したデザインを選択し、[作成] をクリックします。



※デザイナー上では、Excel の編集を行うことはできません。デザインが完了している Excel をアップロードしてください。

※Excel をアップロード後、シート名を変更することができません。ご注意ください。

### 3.3 基本操作の紹介

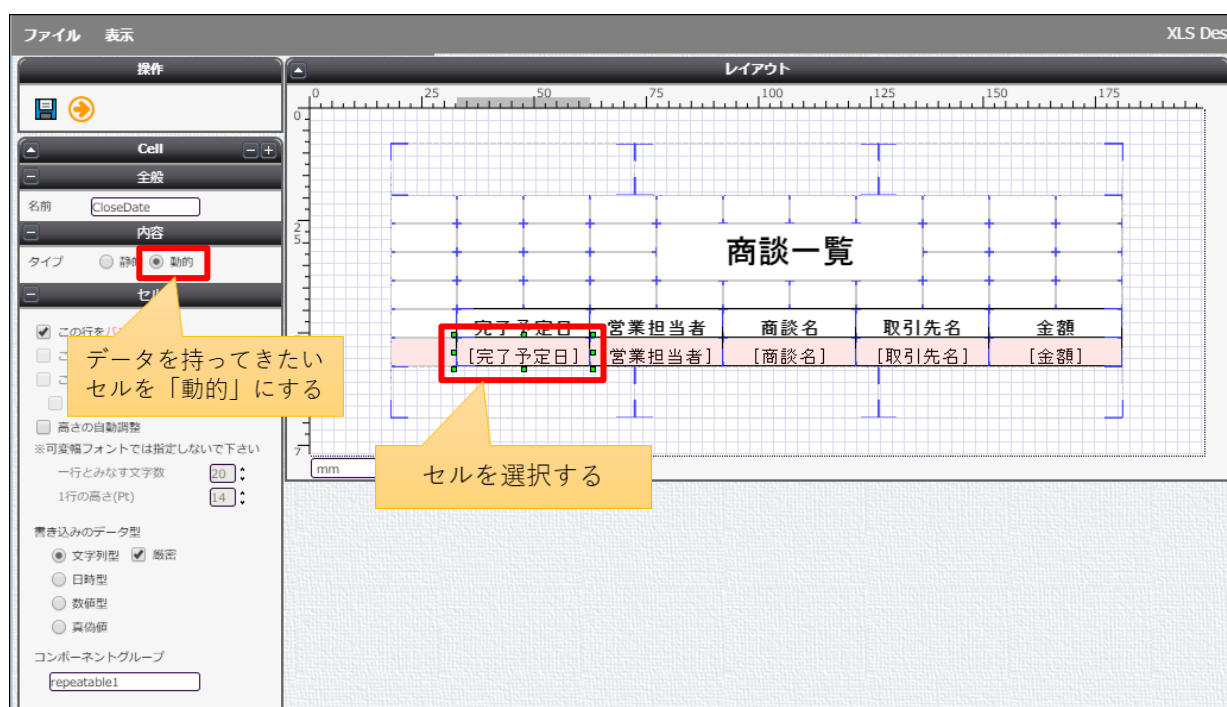
使用する Excel のセル座標に対して、データの挿入を行う仕組みとなっています。そのため、セルの書式設定、関数、マクロ、図形、グラフ、画像がお使いいただけます。グラフや図形など、デザイン上には表示されないコンポーネントがありますが、出力時には表示されます。

データマッピングを行うセルを指定するため

1. レイアウトのセルをクリックして選択し、
2. 画面左の[内容][タイプ]の「動的」を選択します。

静的 …… 固定の文言を表示します。

動的 …… kintone のデータを表示します。



また、作成したテンプレートの編集画面でレイアウトをクリックした時に設定できる機能は以下です。

名称	機能
非表示行を処理しない	チェックをいれた場合、非表示行は削除される。
明細の出力行がない場合そのままにする	チェックをいれた場合、明細が一つもない時でも空の明細行を表示する。
条件付き書式を明細に合わせ調整する	チェックをいれた場合、Excel に設定されている条件付き書式を明細すべてに適用する。
データが空の場合はセルを空で上書く	チェックをいれた場合、データが空の時にはセルを空にする。
メタデータ	選択した属性を動的に変更することができる

セルをクリックした時に設定できる機能は以下です。

名称	機能
タイプ	「動的」を選択すると、外部データを表示します。
この行をバンドとする	選択されているセルを含む行を明細行とします。
この行をグループヘッダとする	選択したセルを含む範囲をグループヘッダ・フッタとして指定します。 この設定を行うと、マッピング画面でグループキーとなる項目を指定することができ、グループキーの切り替わるタイミングでヘッダ・フッタが表示されます。 バンドの上方をグループヘッダ、下方をグループフッタとして自動的に設定します。
この行をグループフッタとする	同上
グループフッタで改ページ	「この行をグループフッタとする」の設定がされている時のみ指定できます。この設定を行うと、グループフッタが切り替わるタイミングで「改ページの挿入」設定がされます。
高さの自動調整	「折り返して全体を表示する」設定を行います。1 行の文字数を指定する必要があり、等幅フォントのみ対応しています。
書き込みのデータ型	指定したデータ型で Excel に挿入します。セルの書式設定の変更はいたしません。
コンポーネントグループ	マッピング画面のコンポーネントグループの命名を行います。基本的には自動的に設定されます。

## 3.4 実際に作る

ここでは、実際にデータマッピングを行うセルの指定をします。

### 1. 完了予定日

完了予定日を表示したいセルをクリックします。

完了予定日	営業担当者	商談名	取引先名
[完了予定日]	[営業担当者]	[商談名]	[取引先名]

以下のようにプロパティを設定します。

この行は明細行となるので、「この行をバンドにする」にチェックを入れます。

Cell

全般

名前: CloseDate

内容

タイプ:  静的  動的

セル

この行をバンドにする

この行をグループヘッダとする

この行をグループフッタとする

グループフッタで改ページ

高さの自動調整

※可変幅フォントでは指定しないで下さい

一行とみなす文字数: 20

1行の高さ(Pt): 14

書き込みのデータ型

文字列型  厳密

日時型

数値型

真偽値

コンポーネントグループ

repeatable1

- 名前: CloseDate
- タイプ: 動的
- この行をバンドとする: チェックを入れる
- 書き込みのデータ型: 文字型(厳密にチェック)

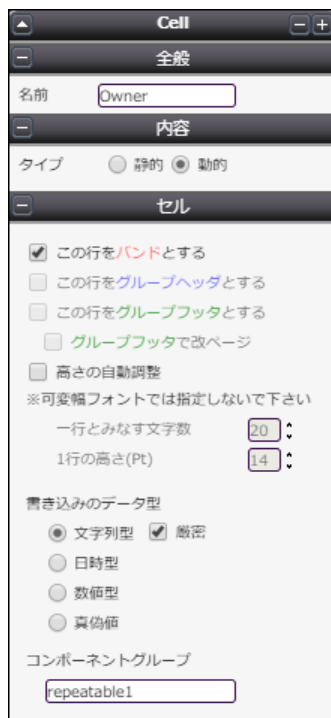
## 2. 営業担当者

営業担当者を表示したいセルをクリックします。

完了予定日	営業担当者	商談名	取引先
[完了予定日]	[営業担当者]	[商談名]	[取引先]

以下のようにプロパティを設定します。

(「この行をバンドとする」については「1. 完了予定日」でチェックを入れていれば既にオンになっています。)



- 名前 : Owner
- タイプ : 動的
- この行をバンドとする : チェックを入れる
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

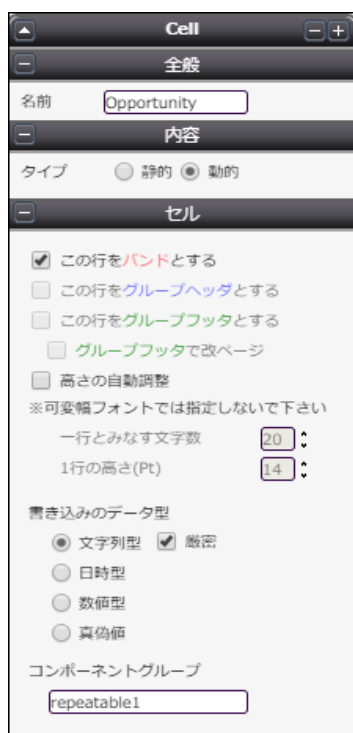
### 3. 商談名

商談名を表示したいセルをクリックします。

了予定日	営業担当者	商談名	取引先名
了予定日]	[営業担当者]	[商談名]	[取引先名]

以下のようにプロパティを設定します。

(「この行をバンドとする」については「1. 完了予定日」でチェックを入れていれば既にオンになっています。)



- 名前 : Opportunity
- タイプ : 動的
- この行をバンドとする : チェックを入れる
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

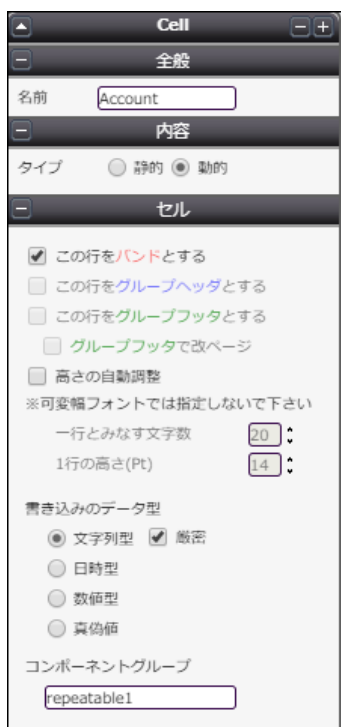
#### 4. 取引先名

取引先名を表示したいセルをクリックします。

営業担当者	商談名	取引先名	金額
[営業担当者]	[商談名]	[取引先名]	[金額]

以下のようにプロパティを設定します。

(「この行をバンドとする」については「1. 完了予定日」でチェックを入れていれば既にオンになっています。)



- 名前 : Account
- タイプ : 動的
- この行をバンドとする : チェックを入れる
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

## 5. 金額

金額を表示したいセルをクリックします。

商談名	取引先名	金額
[商談名]	[取引先名]	[金額]

以下のようにプロパティを設定します。

(「この行をバンドとする」については「1. 完了予定日」でチェックを入れていれば既にオンになっています。)

Cell

全般

名前: Amount

内容

タイプ:  静的  動的

セル

この行をバンドとする

この行をグループヘッダとする

この行をグループフッタとする

グループフッタで改ページ

高さの自動調整

※可変幅フォントでは指定しないで下さい

一行とみなす文字数: 20

1行の高さ(Pt): 14

書き込みのデータ型

文字列型  数値型  日時型  真偽値

コンポーネントグループ: repeatable1

- 名前: Amount
- タイプ: 動的
- この行をバンドとする: チェックを入れる
- 書き込みのデータ型: 数値型

以上の設定が終わったら、保存ボタン(📄)をクリックして、矢印ボタン(➡)でマッピングへ進みます。



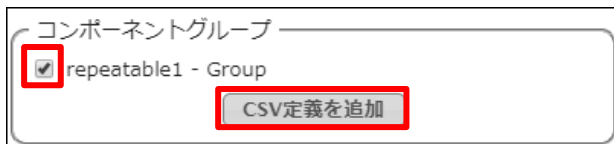
## 4. 項目のマッピング

デザインしたテンプレートに CSV フィールドをマッピングします。

1. 画面左上の「コンポーネントグループ」内「repeatable1」について、CSV 定義を追加します。



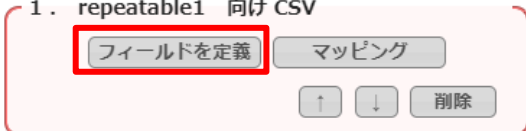
「repeatable1」にチェックを入れ、[CSV 定義を追加]をクリックします。



2. CSVデータのフィールドを決定します。  
[フィールドを定義]をクリックし、[追加]ボタンでフィールドを追加します。

### Dataset Table1

#### 1. repeatable1 向け CSV



3. フィールドを追加したら[マッピング]をクリックし、それぞれのフィールドについてテンプレートのどの動的項目と対応するかを決定します。

設定したいフィールドの行をクリックして、画面左側の「CSV フィールド」から対応させたい項目を「データ」欄にドラッグ&ドロップします。

#### Dataset Table1

1. repeatable1 向け CSV

フィールドを定義   **マッピング**

↑   ↓   削除

コンポーネント	コンポーネントグループ	タイプ	データ
CloseDate	repeatable1	Cell	CloseDate
Owner	repeatable1	Cell	Owner
Opportunity	repeatable1	Cell	Opportunity
Account	repeatable1	Cell	Account
Amount	repeatable1	Cell	Amount

4. マッピングが終わったら、[保存]をクリックします。

CSV定義

1. repeatable1 向け CSV

フィールドを定義   マッピング

↑   ↓   削除

リセット   **保存**

5. テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートを帳票出力に使用できる状態にします。

テンプレート配備ウィザード

テンプレートの配備

テンプレートは保存されましたが、帳票出力にはまだ反映されません。反映するには「配備」ボタンをクリックしてください。  
配備ボタンのクリックで、「CID(弊社より発行されたOPROARTSの認証情報)」配下に  
テンプレートをコピーします。  
配備することによって、下記のフォーム、ボタンから出力できるようになります。

ドキュメント生成フォーム

**配備**

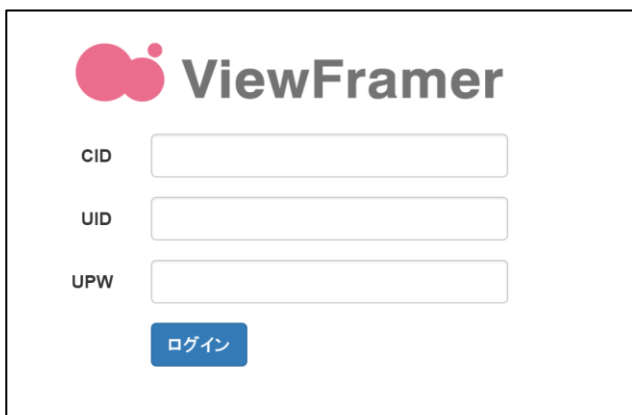
※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点が帳票出力に反映されません。

# 5. ビュー定義

ViewFramer でビューを定義します。

## 5.1 ViewFramer ログイン

最初に、[https://vfui.ap.oproarts.com/view\\_framer\\_ui](https://vfui.ap.oproarts.com/view_framer_ui) にアクセスし、OPROARTS 認証情報を入力して ViewFramer にログインします。



The image shows the ViewFramer login interface. It features the ViewFramer logo at the top left, consisting of two overlapping pink circles and the text 'ViewFramer'. Below the logo are three input fields labeled 'CID', 'UID', and 'UPW'. At the bottom of the form is a blue button labeled 'ログイン' (Login).

次に[認証情報]タブを開き、kintone へログインします。



The image shows the Kintone login form. It is titled 'ログイン' (Login) and includes a dropdown menu for '環境' (Environment) set to 'kintone'. Below this are input fields for 'サブドメイン' (Subdomain) with 'aaaa', 'ユーザID' (User ID) with 'admin', and 'パスワード' (Password) with '\*\*\*\*\*'. There is also a checkbox for 'ゲストスペース' (Guest Space) and an input field for 'スペースID' (Space ID). At the bottom, there are two buttons: '現在のセッション情報を継承する' (Inherit current session information) and 'ログイン' (Login).

帳票出力に利用するアプリがスペースにある場合は、スペースIDを入力する。



## 5.2 ビューの作成

「ビュー」タブで「新規」ボタンをクリックします。



kintone にログインします。

(以降「現在のセッション情報を継続する」でもログイン可能です。また、以降のスライドではこの画面を省略しています。)



## 5.3 ビュー定義: 詳細画面 - 基本設定

基本設定では、ビューの名前とタグ(任意)を設定します。

タグは ViewFramer 内で作成したビューを検索する際のキーワードで、何も指定しなくても構いません。

ビューの名前を設定し、「次へ」をクリックします。例では、「OpportunityList」としています。

※ ビュー名は半角英数で入力してください。



## 5.4 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定

リレーション設定では、ビューで用いる kintone アプリを設定します。

主オブジェクトに「案件情報」を選択し、ショートネームを入力します。任意ですが、例では以下のように指定しています。

案件情報 = Opportunity 顧客情報 = Account

関連オブジェクトには「顧客情報」を指定します。設定は以下の画像をご参照ください。

設定をしたら「次へ」をクリックします。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

リレーション設定

主オブジェクト 案件情報 Opportunity (主オブジェクトのショートネーム)

関連オブジェクト

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	会社コード	等しい(=)	0-案件情報	会社コード

取引先と商談を結びつける条件を設定

次へ 保存

<補足>

ルックアップ項目は、参照先アプリへのリレーションを貼らなくても表示することができます。

しかし、参照先の項目名が変わった時に、kintone のレコードを更新しないと自動的に新しい値には変わりません。そのため、参照元アプリから取得をするように設定をすると便利です。

例えば、[顧客情報]に「会社コード」項目を作成し、[案件情報]では「顧客名」の参照時に自動登録されるようにしておきます。ViewFramer のリレーションで会社コードによる参照をしておくことで、[顧客情報]の会社名が変更されても、kintone レコードを更新し直す必要なく帳票上に新しい顧客名を表示できます。

顧客情報

会社コード 003 会社名 テスト株式会社

案件情報

顧客名 テスト株式会社 部署名 担当名 会社コード 003

リレーション設定

主オブジェクト 案件情報 anken

関連オブジェクト

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	会社コード	等しい(=)	0-案件情報	会社コード

---

**注意**

複数のスペースの内容を1つのビューにまとめることはできません。

---



## 5.5 ビュー定義: 詳細画面 – 出力項目設定

出力項目設定では、帳票に出力する項目を指定します。

「全項目を追加」ボタンで kintone アプリのすべての項目を追加することもできますが、一つずつ追加する場合は「+」ボタンをクリックして項目を増やし、「項目ビルダー」から内容を指定します。

「出力項目名」を OPROARTS Live のテンプレート上で定義されている CSV の項目名と同じにしておくと、後の手順で自動的にマッピングすることができます。

### ビュー: 定義

基本設定   リレーション設定   出力項目設定   出力条件設定

#### 出力項目設定

対象取得元: Opportunity   全項目を追加

No	項目	項目ビルダー	ソート	グループ	出力項目名	
1	FORMAT_DATE( Opportunity.受注予定日, 'yyyy/	項目ビルダー	順	昇順	CloseDate	+ -
2	Opportunity.営業担当者	項目ビルダー	順	昇順	Owner	+ -
3	Opportunity.案件名	項目ビルダー	順	昇順	Opportunity	+ -
4	Account.会社名	項目ビルダー	順	昇順	Account	+ -
5	Opportunity.受注金額	項目ビルダー	順	昇順	Amount	+ -

項目ビルダー

テンプレートのCSV  
フィールド名と同じに  
する。

「列追加」ボタンをクリックし、オブジェクトと列を選択して追加します。



関数を使用することも可能です。上の設定例では、完了予定日を整形して表示するために FORMAT\_DATE(Opportunity.受注予定日, 'yyyy/MM/dd')と記述しています。



## 5.6 ビュー定義: 詳細画面 – 出力条件

レコードの抽出条件を設定できる画面です。

Opportunity の「+」ボタンをクリックして、帳票に出力するレコードの条件を指定します。

ここでは「Record\_Number」という名前のパラメータを用意します。

出力条件を「いずれかと等しい (IN) 」にすることで、このパラメータには kintone の画面で一覧に表示されているレコードのレコード番号が全て入り、パラメータに含まれる全てのレコード番号について ViewFramer はレコードを出力対象として取得します。

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

### 出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 Opportunity Limit 未設定の場合は200,000が設定されます

No	項目名	演算子	条件値
1	レコード番号	いずれかと等しい(IN)	パラメーター名 Record_Number

2 Account Limit 未設定の場合は200,000が設定されます

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

すべての設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存

**注意** 出力条件を「いずれかと等しい (IN) 」にしないと、一覧出力ができません。

# 6. マッピング定義

各ビューを一つのデータの固まりとしてまとめ、帳票テンプレートと紐づける「マッピング」の定義を行います。

## 6.1 マッピングの作成

最初に、「マッピング」タブを開いて「新規」ボタンをクリックします。

マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

マッピング：一覧

新規 インポート

作成者

マッピング名

## 6.2 マッピング管理: 詳細画面

マッピング名とタイプを指定します。タイプは「一覧型」を選択してください。

明細データには、明細ビューを指定します。

設定ができれば、「次へ」をクリックしてください。

マッピング：定義

マッピング名 OpportunityList

タグ (Enterキーで確定)

タイプ 一覧型

ビューの編集を許可する

明細データ 明細 + -

ビュー OpportunityList 取得

明細ビューの項で作成したビューを選択し、「取得」ボタンをクリックしてください。

明細データの名前をつけます。英数日本語が使用できます。

検索結果	
1	CloseDate <input type="checkbox"/>
2	Owner <input type="checkbox"/>
3	Opportunity <input type="checkbox"/>
4	Account <input type="checkbox"/>
5	Amount <input type="checkbox"/>

戻る 元に戻す 次へ

## 6.3 マッピング管理: 出力設定画面

[出力確認]タブの「データ表示」で取得データの確認を行えます。  
問題がなければ、[Documentizer]タブをクリックします。

マッピング：定義 (Simple Mapping)：出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

出力情報確認

添付CSVファイル

文字コード UTF-8

ファイル リクエストパラメーター名

ファイルを選択 選択されていません

出力条件にパラメータを指定している場合、  
直接値を入力します。

パラメーター

Record\_Number

データ表示 出力バージョン Ver.3

ヘッダー

明細

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存 配備

**Point** データ表示の際に、出力バージョン(※)の指定が可能です。

パラメーター

Record\_Number

データ表示 出力バージョン Ver.3

Ver.2

Ver.3

ヘッダー

※出力バージョン切り替えの詳細については、以下ページをご参照ください。

[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法 \(kintone\)](#)

**注意** ここで指定した出力バージョンが、後に kintone 環境に設置する帳票出力ボタンの挙動に影響することはありません。

帳票テンプレートとのマッピングを行います。以下 3 つの設定を行います。

- ① テンプレートを選択
- ② データにビュー定義を指定
- ③ テンプレートの CSV フィールドとビュー定義のデータフィールドをマッピング  
(左側「データ」(=テンプレートのフィールド名)と右側「データフィールド」(=ビューの出力項目)を結びつける)

「td2」のデータには明細データを指定します。

マッピング：定義：出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

Documentizer

プロパティ

データ 明細

出力ファイル名 Live側の帳票テンプレートを指定します。 CloseDate

テンプレート

td2

データ 明細

No	データ	データフィールド	再像
1	CloseDate	CloseDate	
2	Owner	Owner	□
3	Opportunity	Opportunity	□
4	Account	Account	□
5	Amount	Amount	

自動マッピング

「自動マッピング」でテンプレートと簡単にマッピングができます。

保存 配備

マッピングが完了したら、「配備」をクリックしてください。

## 7. 出力アクションの作成

kintone のレコード画面から帳票を出力するボタンを作成します。

kintone のレコード画面から ViewFramer で帳票出力をするためには、出力をリクエストするボタンを kintone 上に作成する必要があります。

1. まず、プラグインの設定をします。

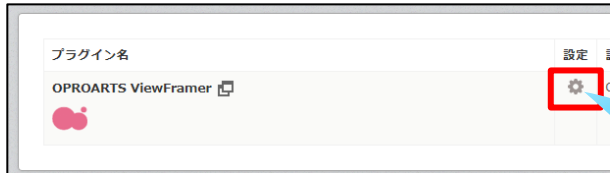
ボタンを設置したいアプリ(ここでは「案件情報」アプリ)の設定画面を開き、[設定]からプラグインを選択します。



2. [プラグインを追加]をクリックすると、OPROARTS ViewFramer のプラグインが表示されます。  
チェックボックスにチェックをいれて、[追加]をします。



3. 次に[設定]をクリックし、ボタン設置設定の「追加」をクリックします。



4. [追加]をクリックすると、このアプリ上で出力が可能なマッピングの一覧が表示されます。  
出力したいマッピングを選んで、追加をします。  
追加後、「保存」をクリックし、アプリの更新を行ってください。

マッピング設定選択ダイアログ

	マッピング名	タイプ
<input type="radio"/>	BizFAX_kn_D3Worker	単票型
<input type="radio"/>	BizFAX_kn_Documentizer	ヘッダー明細型
<input type="radio"/>	CloudSignKintone	単票型
<input type="radio"/>	CloudSignKintone_Preview	単票型
<input type="radio"/>	CloudSignKintone_tsdemo	単票型
<input type="radio"/>	CloudSingnKintone01	単票型
<input type="radio"/>	CloudSingnKintone02	単票型
<input type="radio"/>	CloudSingnKintone_rd	単票型
<input type="radio"/>	DCSS_for_kintone_Hearingsheet	単票型
<input type="radio"/>	Kintone_CloudSign	単票型
<input type="radio"/>	Kintone_GMOAgree_keiyakusyo	単票型
<input type="radio"/>	Label_Output	一覧型
<input checked="" type="radio"/>	OpportunityList	一覧型

追加      キャンセル

5. 操作の「編集」から、ボタンの詳細設定が行えます。

ボタン

ここで設定したボタンがアプリに表示されます。

追加      マッピングを選択してボタンを追加します。

	マッピング名	ボタン名	ボタンの種類	タイプ	設置場所	開発中	出力形式	操作
<input type="checkbox"/>	OpportunityList	出力	出力	一覧型	リストページ	開発中	PDF	編集



6. 開発中にチェックを入れると、開発中ボタンを「表示する」と設定したユーザーにのみこのボタンが表示されます。ボタンを全てのユーザーに対して表示したい場合は、チェックを外してください。

設置場所	リストページ
開発中	<input checked="" type="checkbox"/> オンにすると特定のユーザーのみに表示されます。

7. 出力バージョンを指定します。  
また、出力形式を「Excel」にします。

出力設定	
設定名	値
出力バージョン	Ver.3
出力形式	Excel

**Point**

出力バージョン(Ver. 2、Ver. 3)の違いは以下ページに記載の通りです。

[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法 \(kintone\)](#)

8. パラメータ「Record\_Number」に「レコード番号」を指定し、「変更する」をクリックします。

パラメーター	
パラメーター名	値
Record_Number	項目名
	レコード番号

変更する      キャンセル

9. 全体を[保存]し、アプリを更新します。

	マッピング名	ボタン名	ボタンの種類	タイプ	設置場所	開発中	出力形式	操作
<input type="checkbox"/>	OpportunityList	出力	出力	一覧型	リストページ	開発中	Excel	編集

削除 選択したボタンを削除します。

**前処理/後処理**  
 帳票出力処理の前後に処理を差し込みたい場合は、処理を記述したJavaScriptファイルを指定してください。

前処理:  No file chosen

後処理:  No file chosen

10. 保存が完了したら、作成したアプリの詳細ページにボタンが表示されます。

クリックすると、表示されているレコードの情報を使用し、指定したレイアウトの帳票が出力されます。

**案件情報**

アプリ: 案件情報

案件ごとに、受注の確度や金額はもちろん、商談の履歴も記録できるアプリです。  
 「顧客情報」アプリから、顧客の会社名や担当者名をルックアップして関連付けることができます。関連付けた案件のデータは「顧客情報」アプリから

案件一覧

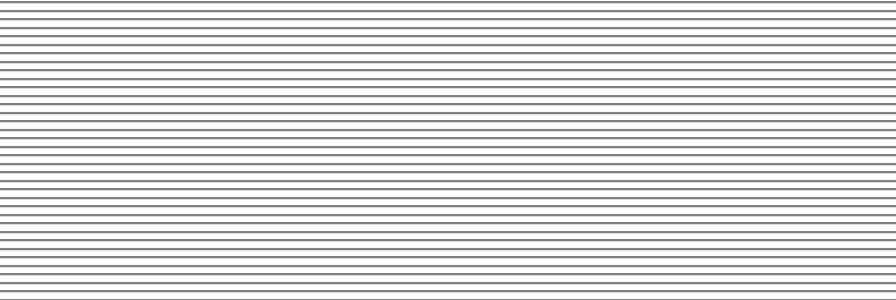
顧客名	案件名↑	受注確度	受注予定日	受注金額
サンプル取引先	商談1	検討中	2019-09-27	10000
サンプル取引先	商談2	検討中	2019-09-27	20000
サンプル取引先	商談3	検討中	2019-09-27	30000
サンプル取引先				
サンプル取引先				


	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												

**Point**

絞り込まれているレコード（画面に表示されているレコード）を出力します



ViewFramer  
ユーザーガイド  
kintone ver.  
(Excel ブラウザマッピング  
/一覧)



発行元 株式会社オプロ